

知的障害部門は
平成20年4月開校

地域と自然に調和した、安心・安全・学びあいの新校舎!

石川県立総合養護学校 肢体不自由部門 開校

～21世紀にふさわしい、特別支援教育の新たな取組です～

平成18年4月、県内初の総合養護学校として金沢市南森本町に「石川県立総合養護学校」肢体不自由部門が開校します。施設・設備のバリアフリー化を徹底し、肢体不自由のある子と知的障害のある子が共に学びながら、一人一人の夢を育み、可能性に挑戦する学校をめざしていきます。

■大型エントランスホール



学校内外の交流のシンボルスペース

■大型キャンピ



天候に左右されない安全快適な玄関

■室内温水プール



水中リハビリや泳法指導ができる
大小の温水プール

■車いす専用テニスコート



障害のある子に配慮した全天候型の中庭

■中庭・芝生広場



自然を感じる遊びとくつろぎの空間

■普通教室



木のぬくもりと柔らかな
自然の光あふれる学習空間

石川県立総合養護学校については、県教育委員会学校指導課特別支援教育担当のホームページにも掲載しています。

<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/gakkou/tokubetsushien/index.html>

石川県教育委員会事務局学校指導課 TEL 076-225-1829



教育

たいあつぱ

No.18
2006
2月

発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL (076) 225-1811
<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/index.htm>



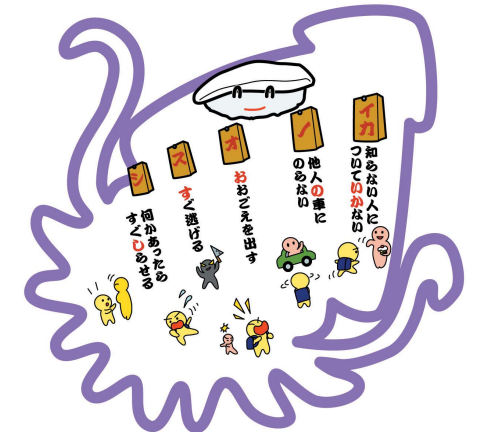
地域の安全についてみんなで考える
(能登町立宇出津小学校)



学校安全指導員による巡回パトロール
(能登町立宇出津小学校)



学校安全ボランティア活動(金沢市立大浦小学校)



～学ぼう“豊かなふるさと石川の自然”～ 石川県立自然史資料館がオープンします

平成18年5月、金沢市銚子町に「石川県立自然史資料館」の教育普及棟と研究収蔵棟がオープンします。資料館は、石川の自然史資料(化石・岩石、動物標本、植物標本など)約17万点あまりを収蔵しています。今後、石川の自然を総合的に学ぶことができる展示棟を新築する予定です。

～教育普及棟～

- ・体験学習室
- ・研修室
- ・企画展示室
- ・図書閲覧室 など

貴重な自然史資料の公開展示に
についても企画しています。

自然史資料館では、週末に子どもたちが学校では体験できない館内外での実験や観察会を企画しています。
県民を対象とした講座や講演会も開催する予定です。



アジアゾウ

～研究収蔵棟～

- ・自然史資料収蔵庫
- ・研究室 など

● 問い合わせ先 ●

石川県教育委員会事務局生涯学習課 TEL 076-225-1839
<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/syougai/index.html>

みんなで守る子どもの安全

県教育委員会では、学校・家庭・地域の皆さんが子どもを守り育てていくための支援事業として、昨年九月より県内を網羅する二十四地域に二十四名の警察官OB等からなる「学校安全指導員」を委嘱し、実効性のある巡回パトロールや学校安全ボランティアに対する指導助言を実施しています。

また、今年度は能登町宇出津地区をモデル地域に指定しています。宇出津小学校では、子どもとPTA、地域の皆さんが、通学路等を一緒に歩いて地域の安全マップを作成し、警察署の協力を得て、地域の安全について考える授業を行いました。

現在、学校安全ボランティアは県内全ての小学校に組織され、通学路等における子どもの安全を守る活動が実施されていますが、地域での活動には学校安全ボランティア団体による活動以外にも一人でもできる活動もあります。登下校の時間帯に合わせて「玄関先の水やりや犬の散歩、買い物等」「通学路の要所に立つて挨拶」「送り出し、出迎えに親が子どもと一緒に歩く」「車や自転車に乗っくの巡回」等で見守る目を増やすことが大切です。

地域の大人が協力して子どもたちを犯罪から守ろうとしている姿や意気込みが、様々な場面で目に見えることは、犯罪の抑止効果につながり、子どもたちが安心して学校に通うための大きな力となります。